

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	270301468		
法人名	社会福祉法人白銀会		
事業所名	グループホームひかる		
所在地 (電話番号)	〒031-0821 青森県八戸市白銀5丁目8-2 (電話) 0178-32-1755		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 8月 28日	評価確定日	平成 19年 11月 13日

【情報提供票より】(平成 19年 7月 1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 15年 3月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤	8人, 非常勤 1人, 常勤換算 8.6人

### (2) 建物概要

建物構造	木造造り		
	2階建ての 1階 ~ 2階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	8,000 円
敷金	有( ) 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		900 円

### (4) 利用者の概要(7月 1日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名
要介護1	0名	要介護2	2名		
要介護3	3名	要介護4	4名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 84歳	最低	73歳	最高	94歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	きむらクリニック
---------	----------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>利用者のケアプランや、ケース記録など独自のフォーマットを利用し、よりその利用者の状態を理解しやすいように工夫されている。又、職員も利用者と共に同じ料理を共に食するなどコミュニケーションを図ると共に家庭的な雰囲気をかもし出している。</p>
--

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回は要改善点なし。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員一人ひとりが年間目標を設定し、目標に対する意識の向上に努めており、また事業所としての月間目標を掲げ、ケアの向上に繋がるよう努力されている。そしてこれらの取組と共に外部評価等を通じ改善に取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>利用者を第一と考え、運営推進委員会や家族の方、地域の方々に対し、アプローチをし、検討内容や課題など話し合われており、改善に向けた取り組みがなされている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)</p> <p>定期的にご家族に対し、利用者の状態等を連絡すると共にご家族等からの意見等がある場合には、話し合いをされ改善に向け検討されている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>日常的に買い物や散歩等を行い、地域の町内会長や住民等と近隣の人たちと触れ合う機会が多く、コミュニケーションが図られている。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念の下、独自に事業所としての理念を掲げており、時には理念に立ち戻りケアや自分を見直す指標としている。		地域生活の継続や地域との交流に関する項目も取り入れ、地域密着型サービスの役割を理念へ盛り込むことが望ましい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝、理念を唱和すると共に、月毎に行われる個人目標に対する評価を実施しており、理念の実践やケア等について検討されている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	日常的に買い物や散歩等に出かけており、地域の住民の方たちと触れ合う機会を持っている。又、町内会等に参加し、認知症に対する普及活動に参加している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価の設定、継続の確認等を行っており、又、外部評価等の結果を踏まえ、改善に取り組まれている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>現在、ホーム、地域、家族等との情報、問題等を共有して、改善に向けて取り組まれており、利用者を中心にサービスの活かしている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市担当者との関係づくりを図りつつ、疑問・課題等について確認するなどをし運営に努められている。</p>		<p>事業所運営上生じる課題等について確認等の他に、市担当者に対し運営の現状や課題等を伝えつつそれに対する解決方法について協議・話し合いをしていく事が望ましい。</p>
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修への参加など、学ぶ機会をつくり理解を深めるように取り組んでおり、実際に支援に結びつけている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>高齢者虐待防止法に関する理解を深める為、スタッフを研修等に参加させ意識の向上及び防止への取り組みを行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約等を行う際、ご家族への理解を深めて頂く為、時に事例を挙げ説明を行っている。又解約後におけるアフターフォローも考慮し、今後の対応等について説明が行われている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>定期的に個人新聞(一人ひとりの活動報告を記した新聞)を発行し、日々の生活状況をご家族様に対し伝えるように工夫されている。又、あわせて健康状態や金銭管理状況の報告を行っている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族へは運営推進会議等にて、苦情受付担当者を設置している事や意見・要望など言って頂けるよう伝えており、出された意見や要望などに対し、ご家族との話し合いのもと改善に取り組んでいる。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動等による利用者への影響を考慮し、法人内研修及び入居者との関係づくりの為、他セクションからの職員の派遣や交流など行われており、利用者への影響を防ぐ配慮がされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内にて、各セクションに研修委員を設置し、定期的に計画のもと法人内研修が行われている。又、外部研修については、運営者、管理者との話し合いのもと参加者を決定し受講させている。又受講終了後には、報告の機会をもち社内伝達の機会を設けており、職員を育てる取り組みがなされている。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者は他法人の同業者との交流を図っている。スタッフによる他法人への交流が図られていないが、管理者は交流により他事業所での取り組み等を共有する事がサービスの向上を図る機会になると認識している。</p>		<p>職員の育成の重要性を認識しているものの、社内研修の他に他事業所の見学や交流等により様々な取組の共有や、サービスの向上を図る事が望ましい。</p>
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>馴染みの関係を構築する為に、十分に時間をとりご本人やご家族に対し、安心し納得しながらサービスの利用が図られるよう段階的に支援のあり方を工夫されている。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者と共に食事をしたり、利用者が出来る事を行って頂いたり、また利用者からいたわって頂いたり励ましてもらったりし、共に支えあう関係づくりを工夫され実施されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者との関りを通じて、言葉や表情、行動等の観察よりその真意を推し測り、より良いケアに繋がるよう取り組まれている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者が主体となる生活が出来るよう、ご本人やご家族等との関りの中で要望や意見を確認し、ケアプラン等に反映出来るよう取り組まれていると共にケアプランの実行についてご家族が参加出来るよう取り組まれている。</p>		<p>ご家族や関係者及びご本人等にて話し合いを持ち、意見や要望等を反映したケアプランの作成の為に、面会の頻度や協力体制の構築に努める事が望ましい。</p>
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>ケアプランは定期的に設定、見直しを行っており、又現状におけるニーズ、サービス提供状況に沿った計画をするよう取り組まれている。</p>		<p>1ヶ月毎という短期間にてプランの設定を行っており、その為にご家族等からの毎回同意を得る事が困難となっている現状がある。ご家族等とは日頃より関りを深め、時には十分に説明を行い、理解して頂く様努める事が望ましい。</p>
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>希望にてデイサービスでの入浴や行事への参加を実施しており、又他機関、他セクションとの協力体制を図り、柔軟な支援が出来るよう取り組まれている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所の協力医の他、利用前のかかりつけ医での医療が受けられるようにしており、適切な医療が受けられるよう支援が行われている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期に対する対応方針を定め、ご家族や医師等にその旨説明を行っている。又、利用者の健康状態の把握、管理に努めている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの尊厳を考慮し、声かけ等の配慮がなされており、個人情報保護法の理解、秘密保持に努められている。		利用者に対する声かけを行う際、誘導の声かけとならないようにし、一人ひとりの誇りを損ねない対応が望ましい。
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの状態や希望等を考慮し、買い物や散髪、散歩などに出かけるなど、柔軟な対応をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	調理・盛り付け・片付けなど利用者と共に行い、職員と利用者が同じテーブルで食事をするなど、雰囲気作りがなされている。		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	入浴の希望する日や時間等を確認し、利用者の希望に添った入浴が出来るようになっており、一人ひとりの気持ちや生活習慣に沿った支援が行われている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	利用者が得意分野で力を発揮して頂けるような場面を作っている。又、牛乳パックによるソファ作りなど新たな楽しみ作りを模索、検討し支援に努めている。		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	近くにスーパーなどがある立地条件を活用し、外に出かける機会を積極的に作っており、又買い物をする時は利用者本人が買い物が出来るように支援を行っている。		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	高齢者の権利擁護や身体拘束について話し合い、研修等を通じ、職員の共有認識を図ると共に、必要に応じて見直しを行っている。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間帯以外においては施錠しておらず、利用者が外出しそうな時には、止めずさりげない声がけや一緒に行動したりしている。又住宅地という立地条件にあり交通量が多い為安全面に配慮したケアがなされている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	運営推進会議等を通じ、緊急時における連絡体制及び対応策又、警備会社との連携体制等についての説明が行われており、地域住民の方々に協力を呼びかけられている。		隣接した住宅地に存在する事により、火災など緊急時の対応について、地域住民の方々を交え消防訓練の実施をするなど今後地域ぐるみで取り組む事が望ましい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の食事の状態を観察し、食事や水分等の摂取状況をチェックし記録に残し、情報の共有を図っている。又おかゆ、とろみをつけるなど、利用者の状態に応じた工夫がなされている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症に対するマニュアルを作成し、全職員が常に確認する事が出来るようにしており、予防・対策に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p> <p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>廊下や台所などには、季節を感じる事が出来るようカレンダーを設置したり、廊下には手作りのソファを配置し台所では料理をする音や様子を見る事が出来たり自分なりの活動がしやすいような工夫がなされている。</p>		<p>壁等にはカレンダーや季節を現すものなど様々なものが掲示されているが、その際に使用するものは画鋲をしており、抜けた時危険に繋がる事も予想される。その為、とめる際の工夫をし、怪我に繋がらないようにする事が望ましい。又、台所や事務所等を解放し共有空間における居場所づくりを行っているが、事務所内の配置換え等を行いつつより良い共有スペースが出来るよう模索・検討する事が望ましい。</p>
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>写真や使いなれた日常生活用品等を使用し、利用者にとって居心地よく生活出来るよう模索しつつ配慮がなされている。</p>		

 は、重点項目。